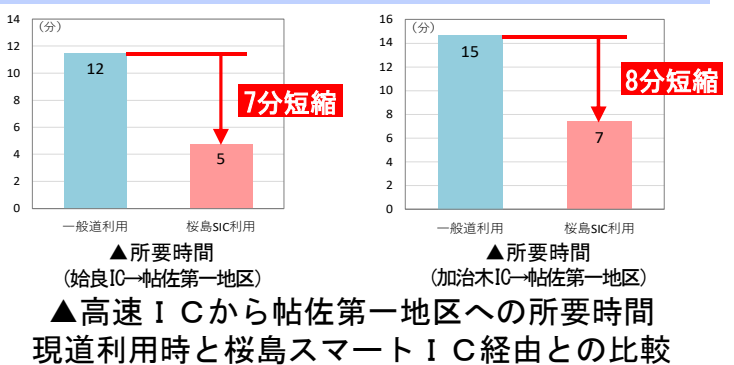


開通により期待される整備効果

【整備効果①: 定住人口増加の支援】

- 「始良市人口ビジョン」で2025年の人口目標を基準年である2010年から約5,300人増の約8万人としている。
- 高速道路から住宅地までのアクセス時間が約7~8分短縮することで住宅地としてのポテンシャルが高まり、定住人口の増加が期待。
- 桜島スマートICの開通により、住宅地から高速道路を利用した通勤車両が国道10号から、桜島スマートICを利用して、九州自動車道へ転換することで国道10号の渋滞緩和に寄与。

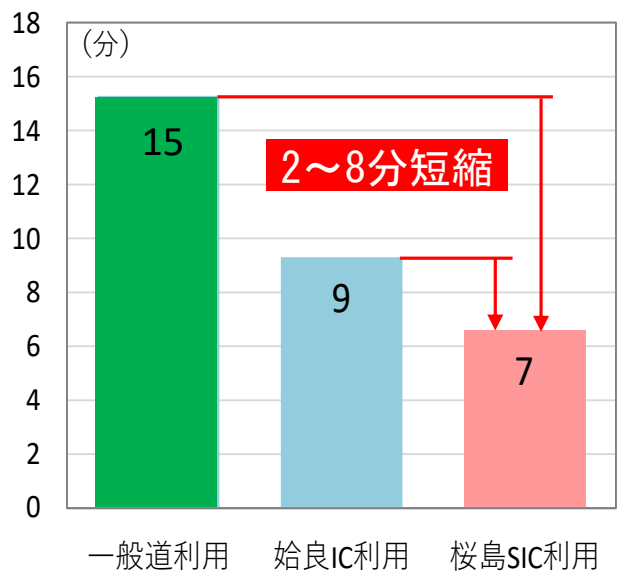
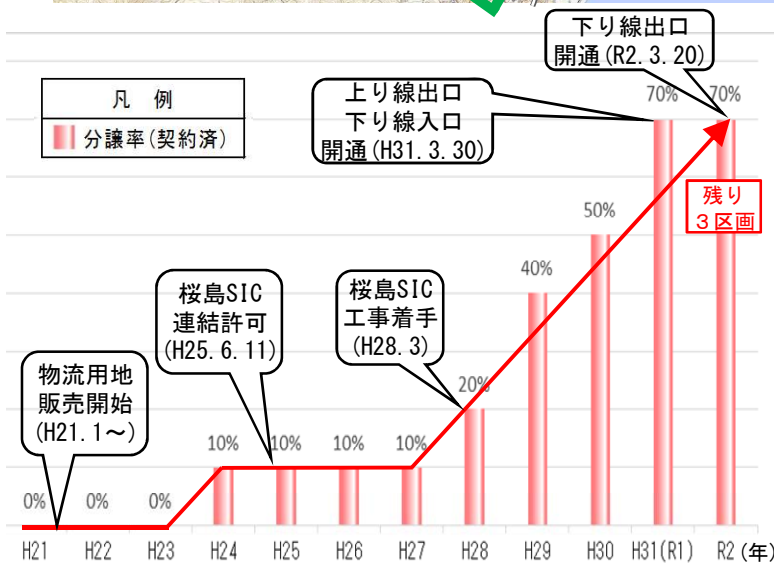
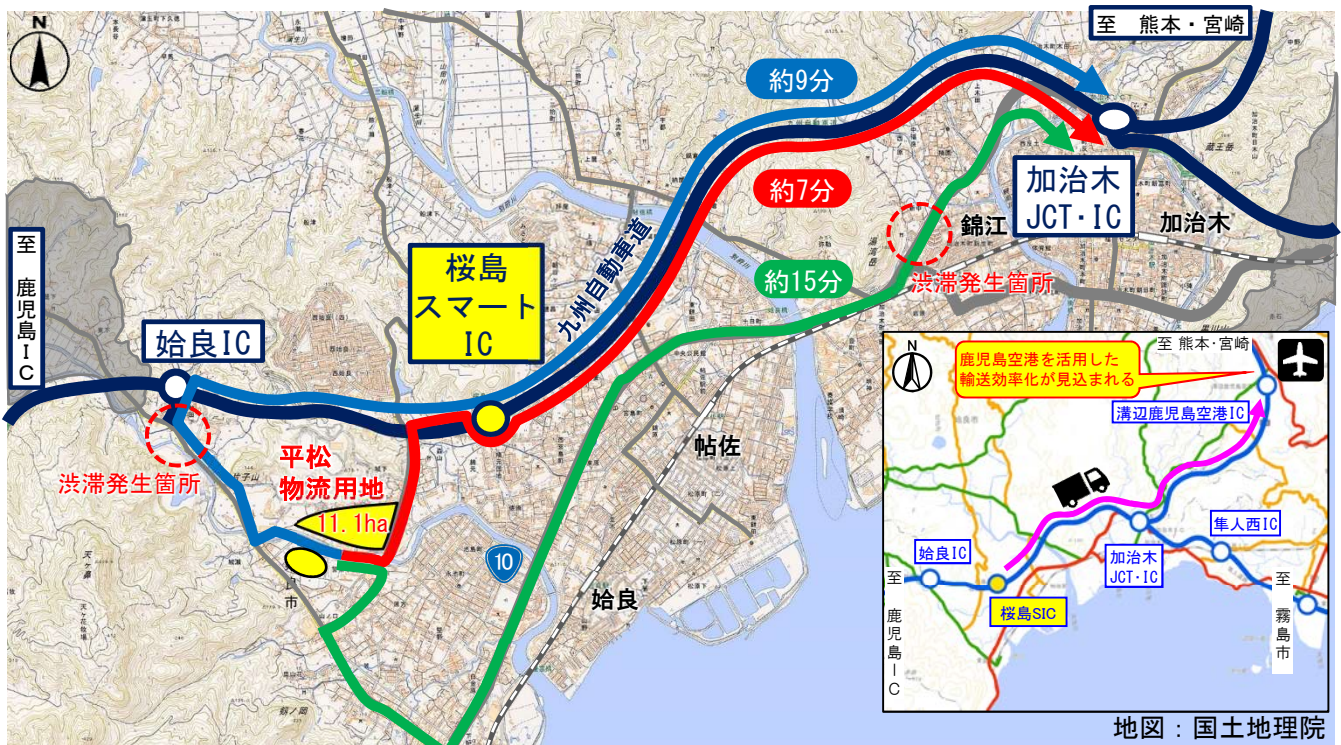


出典：H27全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
[市道]上記調査の鹿児島県地方道計速度（混雑時）を用いて算出

開通により期待される整備効果

【整備効果②：企業誘致の支援】

- 始良市西部にある平松物流用地は、始良ICと桜島スマートICの間に位置し、大手自動車メーカー直営の整備工場や食品・物流などの企業が進出。
- 桜島スマートIC整備により、平松物流用地から加治木JCT・ICまでの所要時間が改善することで、企業誘致が加速し、雇用創出や定住人口増加に寄与することが期待。



出典：H27全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
 [市道]上記調査の鹿児島県地方道計速度（混雑時）を用いて算出

開通により期待される整備効果

【整備効果③: 津波被害時の緊急輸送道路の確保】

- 始良市沿岸では、海底噴火による約6mの津波被害が記録されており(安永噴火:1779~80)、同程度の津波発生時には、国道10号等が被災し、交通が寸断されるリスクが存在。
- 桜島スマートICの整備により、緊急輸送道路である九州自動車道から始良市役所を含む中心市街地や住宅地へのアクセスが可能となり、津波災害時における早期支援が期待される。

